

平成12年度 春学期島根県立大学「21世紀・地球講座」開講科目

講座番号	講師名	テーマ	講義内容	開講日時
1	豊田 有恒	SFアニメの歴史 —「鉄腕アトム」から「宇宙戦艦ヤマト」	小生ショウセイが、かつてシナリオ作家として身をおいたアニメ業界に関して、セル画等を活用しながら、楽しく分かりやすくお話しします。	6/10(土) 15:00~16:30
2	田嶋 義介	危機に立つ新聞 —前朝日新聞政治部記者が語る—	新聞は今、前門に若者の新聞離れという虎、後門にテレビという狼にはさまれ危機に立っている。その実状をビデオを使いつつ、本年3月まで朝日新聞政治部記者だった島根県立大学教授が明かす。	6/17(土) 15:00~16:30
3	張 忠任	環日本海経済圏の構想と進展 —函們江開発計画を中心に—	環日本海経済圏の提起とその経済条件(特に資源の相互補完性)、交通条件(航路と鉄道ルート)、函們江開発計画の経緯と開発モデルなどについて講義します。	6/23(金) 19:00~20:30
4	鹿 錫俊	台湾総統選後の中台関係とその行方	台湾問題の由来から3月総統選までの中台関係、そして陳水扁氏当選後の台湾政治と中国政府の対応から、対立の所在とその行方ならびに日本への影響についてお話しします。	7/1(土) 15:00~16:30
5	渡部 望	パボン裁判 —フランスの戦後処理—	モーリス・パボンは戦前戦後を通じてエリートの道を歩み続けてきた高級官僚である。だが彼は第二次世界大戦のドイツ占領時代にユダヤ人約1600人をナチス・ドイツの強制収容所に送ったとして1983年から取調べを受け、1998年には「人道に対する罪」で禁固10年の刑を宣告された。フランスではこのパボン裁判を巡って様々な意見が噴出し、大きな議論が巻き起こった。こうした議論を紹介しながら、フランスの戦後処理の問題について考えてみたい。	7/6(木) 19:00~20:30